

6/18 朝日

維新・猪瀬氏に「セクハラ」批判

22日公示の参院選に日本維新的会公認で比例区から立候補予定の元東京都知事の猪瀬直樹氏が、東京選舉区内で維新から立候補予定の女性を応援演説した際に、女性の体に複数回触れたことに対し、「セクハラ行為」とあたるとのN S上で批判を浴びた。猪瀬氏は17日、自身のツイッターで「軽率な面がありました」と投稿した。

批判されたのは、猪瀬氏が12日、東京都武蔵野市内で女性と一緒に街頭演説した際の行為。演説

しながら、女性の背中や肩を触った後、誤って紹介した女性の氏名を言い直す際に、女性の胸のあたりを手のひらで触るような動きをした。

演説の様子は大阪維新的会の公式ユーチューブチャンネルで動画

候補予定者の体に触れる

で「軽率な面がありました。十分に認識を改め、注意をして行動していきたいと思います」と投稿。一方、体を触られた女性は同

日、朝日新聞の取材に対し、「(胸に)当たったわけではない」「肩をポンポンという感じ(の触れ方)なので問題視はしていません」と話した。

維新の松井一郎代表(大阪市長)は同日、「そういう誤解を受けるような行動は避けるべきだ」と記者団に語った。「ヤクハラはやつちやだめ、御法度だ。行動に緊張感を持るべきだ」とも述べた。

猪瀬氏は同日、自身のツイッタ